

計画の名称	葦崎中央公園防災拠点整備計画（防災・安全）													
計画の期間	令和05年度～令和07年度（3年間）										重点配分対象の該当			
交付対象	葦崎市													
計画の目標	本市は、南海トラフ地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法に基づく南海トラフ地震防災対策推進地域に指定されているほか、現市営体育館は釜無川と塩川に挟まれた箇所に位置し、家屋倒壊等氾濫想定区域にも該当していることから高台への移転を余儀なくされた。そのため葦崎市地域防災計画において防災拠点整備計画を位置づけている。 大規模災害発生時には、緊急ヘリポートや自衛隊等による広域応援体制の拠点となる。 災害発生後の中・長期的には応急仮設住宅建設予定地が計画されている既存機能に加え、市庁舎を補完する防災本部や地域住民の避難所、緊急物資集積機能を有する市営新体育館を整備し、総合的な地域防災拠点の充実を計画している。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		4,138	A	4,138	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R5		R8
1	指定避難所としての収容人数増加			
	新体育館内におけるメインアリーナ及び多目的ルーム、柔道場の想定面積3㎡あたり1人（感染症収束時）＝800人もしくは12㎡あたり1人（感染症対策時）＝200人及び駐車場（約250台）マイカー避難（2台利用）＝125台×2人＝250人	0人	人	450人
2	市民アンケート調査における「防災」に対する満足度（5段階評価）			
	市民アンケート調査（葦崎市のまちづくりに関するアンケート調査）における「防災」の満足度を現況の3.06から0.1ポイント程度引き上げる。	306ポイント	ポイント	316ポイント

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	○	避難行動要支援者名簿の提供	○

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	荳崎市	直接	荳崎市	-	-	都市公園事業（荳崎中央公園）	用地買収・体育館建設・駐車場整備・防災備蓄倉庫等整備（約1.5ha・延床面積約6,600㎡）	荳崎市	■	■	■			3,148	2.47	未策定	
	A12-002	公園	一般	荳崎市	直接	荳崎市	-	-	都市公園事業（荳崎中央公園）（5 年防公）	災害時に広域防災拠点となる防災公園整備(体育館・駐車場・防災備蓄倉庫等(約 1.5ha・延床面積約 6,600 ㎡))	荳崎市	■	■	■			990	2.47	未策定	
											小計							4,138		
											合計							4,138		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R05				
配分額 (a)	239				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	239				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	239				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					